



		<p>これはあなたの手袋ですか。  あ、そうです。ありがとうございます。  ③最後の絵から、李愛香さんは何に気づいたのですか。  辞書で中国語と日本語の意味の違いに気づきました。  ④この文はどんなテーマをめぐって展開しているのか予測してください。  日本語と中国語の違った言語習慣です。</p>														
10分	展開 (ステップ1の内容)	<p>皆さんは絵を見てテキストの内容を予測しましたね。では、テキストの内容は本当に私たちの予測どおりに進めているのか、見てみましょう。  ①では、皆さんはテープを聴いて自分で内容を確認してください。それに、次の表に従って、大体的内容をまとめてください。</p> <table border="1"> <tr> <td>だれ</td> <td>何をしたい</td> <td>しかし</td> <td>それで</td> <td>そして</td> </tr> <tr> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> </table> <p>だれ：李愛香さんと二人の日本人  何をしたい：二人は手袋を落ちました。李愛香さんは拾って返しました。  しかし：李愛香さんは女の人に「おばさん」と呼んで、女の人を嫌な気持ちにさせました。  それで：李さんは小林先生に教えてもらいました。言語習慣の違いが分かりました。  そして：日本語を上手に話すには、文法だけでなく、日本語の言語習慣にも気を付けなければならないと気がつきました。  ②もう一度聞いてください。自分のまとめたものをチェックしてください。</p>	だれ	何をしたい	しかし	それで	そして						<p>表やマインドマップなどを利用して文章の大体的意味をまとめさせる。  録音は2回聞きますが、目的がそれぞれ違う。  一回目は内容面に理解させる  二回目はまとめた内容をチェックさせる</p>	<p>①まとめた項目に注意させる  ②長い文は適当にストップして、理解する時間を与える  ③生徒さんの違った表現を提唱する  ④使用するもの：テープ録音、プリント</p>		
だれ	何をしたい	しかし	それで	そして												
15分	定着練習	<p>では、皆さんは五つのグループに分けて、一つのグループには4人います。グループで、一人は一つの項目を担当してまとめた内容を詳しく表現してください。</p> <table border="1"> <tr> <td>だれ</td> <td>しかし</td> <td>それで</td> <td>そして</td> </tr> <tr> <td>何をしたい</td> <td></td> <td></td> <td></td> </tr> <tr> <td>メンバー1</td> <td>メンバー2</td> <td>メンバー3</td> <td>メンバー4</td> </tr> </table> <p>2分間準備して、これから、メンバーが自分のグループを離れて、各グループのメンバー1を担当する人(5人)が一つの組になって、各グループのメンバー2(5人)は一つの組になって、このように同じ項目を担当する人はお互いに内容をどのように詳しく表現するか話</p>	だれ	しかし	それで	そして	何をしたい				メンバー1	メンバー2	メンバー3	メンバー4	<p>①グループ内で、項目を決める → ほかのグループの同じ項目を担当する人と話し合う → 自分のグループに戻って文章を完成させる  ステップによって、文章の内容を定着させる  ②協同作業の能力を鍛える</p>	<p>①発表した内容はすべて同じとは限らない  ②内容を豊かにすること、独自性を強調する  ③使用するもの：プリント、板書</p>
だれ	しかし	それで	そして													
何をしたい																
メンバー1	メンバー2	メンバー3	メンバー4													

		<p>し合ってください。</p> <p>そして、メンバーは元のグループに戻って、各項目の内容を合わせて完全に揃っている文章をグループずつ発表してもらいたいです。 (時間によって5組ぐらい)</p> <p>各グループがお互いに評価します。</p> <table border="1"> <tr> <td>よくできた</td> <td>まあまあで きた</td> <td>もっとがん ばる</td> </tr> </table> <p>先生もコメントします。</p>	よくできた	まあまあで きた	もっとがん ばる	③各グループの 創新精神を 提唱する	
よくできた	まあまあで きた	もっとがん ばる					
5分	アウト ワード 練習	<p>皆さんはもう一度文章の録音を聴いて、この文章のテーマをもっと深く考えて次の質問に答えてみてください。</p> <p>皆さんは普段日本語を使った経験で言語習慣による意味の違いに気がつきましたか。例を挙げてください。</p> <p><b>日本語の「あなた」は中国語の「您」や「你」と違います。</b></p> <p><b>中国では親しい人には「ありがとう」とはあまり言わないです。</b></p> <p><b>日本では、足を踏まれたほうが「すみません」と言います。</b></p>	<p>文章のテーマをめぐって、生徒さんにもっと考えさせたい。</p> <p>生徒さんの自分なりの答えを喚起する。</p>	<p>①シャドーイング方法を利用して復習する。</p> <p>②生徒さんのそれぞれの答えを導く。</p> <p>③使用するもの：録音</p>			
5分	まとめ	<p>では、皆さんは今日の勉強を通してどんなことを習いましたか。</p> <p><b>勉強した方法：表やマインドマップなどを使って文章の内容をまとめます。それに、協同作業が大切です。</b></p> <p><b>勉強した内容：言葉を使う時、意味だけでなく、言語習慣を理解するのも大切です。</b></p>	<p>勉強した内容をもう一度確認させる。</p>	<p>①板書にも工夫する</p> <p>②生徒さんに今日勉強した内容についての感想を作文にさせる。</p> <p>③使用するもの：板書</p>			
<p>工夫点・アピールポイント（どの部分に力を入れて作成したか、どの部分に注目してほしいか など）</p> <p>1、文章を読む前、読んでいる時、読んだ後の順序に焦点を当て、授業の流れを設定しました。</p> <p>2、読んでいる時、流れを表すマインドマップやジグソーパズルの読み方を利用して、生徒さんに文章の内容をもっとはつきりさせました。</p> <p>3、生徒一人一人の口頭表現と考え方を日本語で表現することを励ましました。</p> <p>4、グループ発表を通して、生徒さんの協同作業の意識が高まりました。</p> <p>5、言語能力だけでなく、言語習慣の裏にある文化の違いについても学びました。生徒さんの文化意識や身近の実際のことを連想する能力も高まりました。</p>							
<p>研修会でどんなことを学び、どのように授業に活かしたか。</p> <p>(例：○○の講座で●●について学び、授業では△△の部分に取り入れた など)</p> <p>参加年： 2017 年 春 / 研修会名：2017 年春季全国中等日本語教育教師研修会</p> <p>読解に関する講座で、トップダウンモデルの読み方、読み取りの3段階の運用、生徒の協同作業について学び、授業では文章のまとめ、理解と復唱する部分に取り入れた。</p>							

※2 ページ以上になってもいいですが、項目は変更しないでください。